

# 沖縄県家畜衛生試験場

## 1. 計画概要

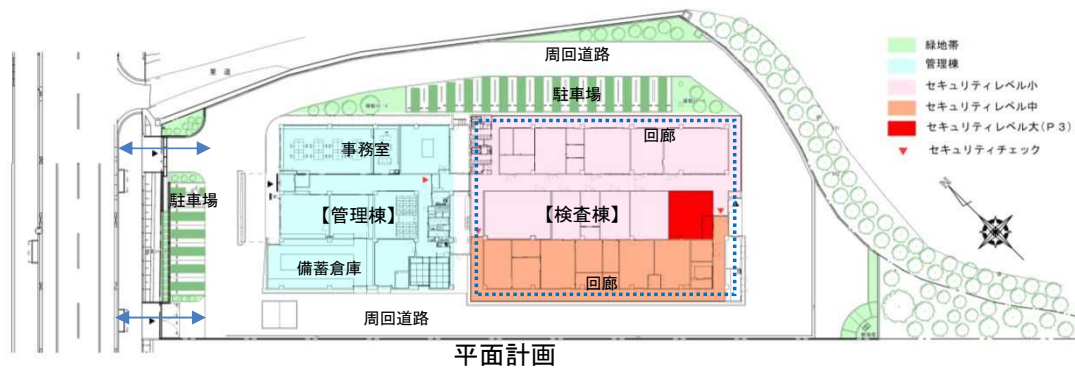
所在地：沖縄県うるま市兼箇段  
工期：平成28年7月～平成29年4月  
構造・階数：鉄筋コンクリート造 平屋建  
敷地面積：4,030.55 m<sup>2</sup>  
延べ面積：1,668.44 m<sup>2</sup>

## 2. 施設概要

本施設は那覇市古波蔵にある沖縄県家畜衛生試験場の老朽化に伴う建て替えのためうるま市に移転したものである。本施設は県民生活に安全な畜産物を供給し、動物との融和を目指した健全な環境づくりに寄与するため、家畜、家禽を中心に、その他動物全般の病気の診断、予防技術の開発・研究、人獣共通感染症対策、各種事業、普及、啓蒙を行う施設である。また、家畜伝染病の発生に備え備蓄倉庫を設け、毒物・劇物・病原菌の管理を徹底するためセキュリティーの強化を行っている。

## 3. 設計コンセプト

配置計画は、不定形な敷地において周回道路により利便性の高い計画とし、建物はバイオセキュリティーを考慮し、管理棟と動物の病気診断等を行う検査棟を明確に分離した。管理棟は関係機関の会議等で利用できるプロジェクターを装備した会議室を設け、検査棟は回廊にて効率的に各研究室にアクセスでき、要所にセキュリティーチェックを設け保安性の高い計画としている。構造は耐久性に優れたRC造とし単純ラーメン構造とすることで建築コストを抑え、将来の可変性に対応できるように間仕切りはスチールパーテーションを用いた乾式工法とした。管理棟と検査棟はメンテナンスを考慮し独立した設備系統で計画した。また、ルーバーやLOW-Eガラスを用いて鉄負荷低減を図り、設備機器は外部に露出しない計画とし、敷地形状を利用した緑地帯を設けることで環境・景観に配慮した設計となっている。



正面（北側）外観



車寄せ・駐車スペース



東側外観・駐車スペース



西側外観・周回道路



玄関ホール



研究室



備蓄倉庫



検査棟回廊



サービスコート



北側夜景



南側夜景



# 県営伊覇団地

## 1. 計画概要

所在地：八重瀬町字伊覇  
工期：平成28年2月～平成29年6月  
構造・階数：鉄筋コンクリート造 地上5階建  
敷地面積：9,866.36 m<sup>2</sup>  
延べ面積：3,951.21 m<sup>2</sup>

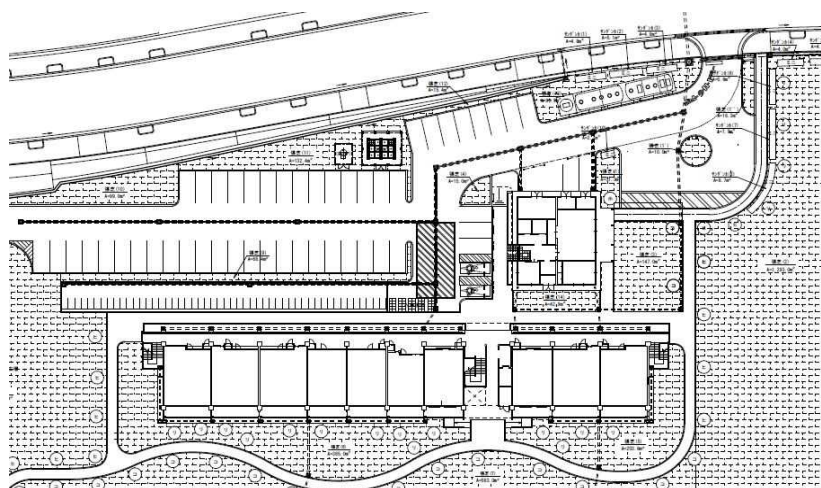
## 2. 施設概要

本計画地は伊覇土地区画整理事業区域内にあり、平成11年度に旧東風平町から県営住宅建設の要望があったため、取得した経緯がある。

周辺道路が未整備であることなどにより事業着手が先送りされてきたが、八重瀬町が事業主体となり、当該建設用地を含めた周辺の造成工事が実施されることとなったことから、平成26年度より「基本・実施設計」を行った。

## 3. 設計コンセプト

団地計画にあたっては、建物の長寿命化を図るため、住宅性能評価の要求水準を満たし、南側の擁壁や住棟の大きな壁面が与える圧迫感を和らげるため広い敷地を生かした並木道を形成する。住戸数は50戸（内車いす専用住戸は2戸）で集会所は別棟となっており、スクールバス送迎用の回転広場を設ける計画であり、平成28年2月に着工、平成29年6月に完成した。



北側外観



南側外観



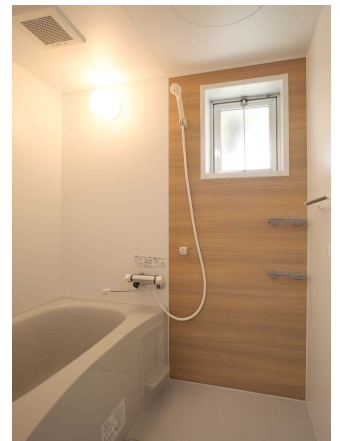
集会所外観



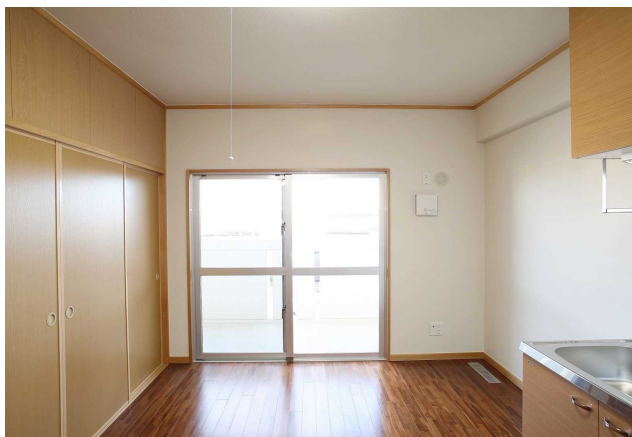
廊下



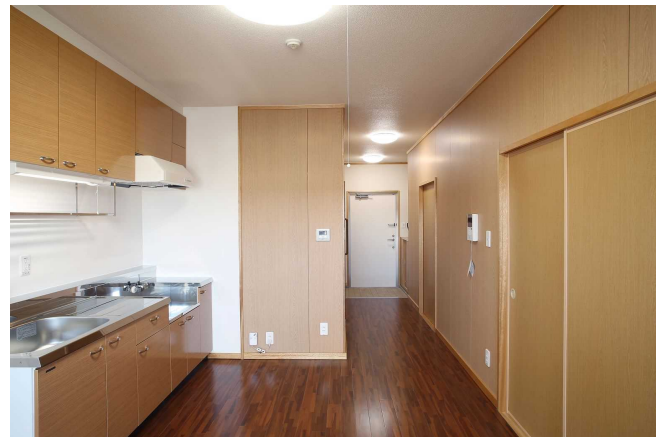
3LDKの玄関



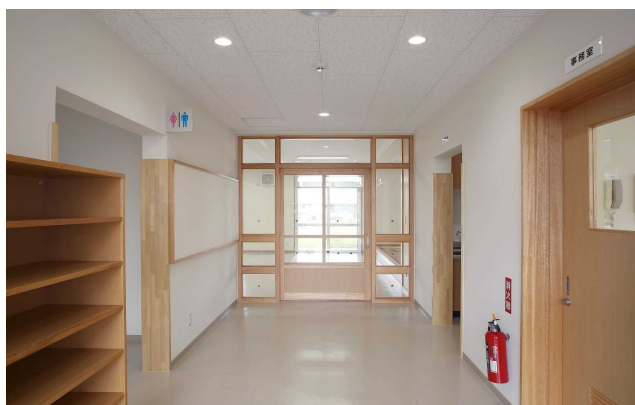
3LDKの浴室



3LDKのダイニングキッチン



3LDKのダイニングキッチン



集会所・玄関ホール



集会所・集会室



# 名護高校普通教室・F科棟

## 1. 施設概要

所在地：沖縄県名護市  
工期：平成28年9月～平成30年3月  
構造・階数：鉄筋コンクリート造 地上3階建  
敷地面積：52,723.60 m<sup>2</sup>  
延べ面積：4,343.38 m<sup>2</sup>

## 2. 計画概要

名護高校の教室棟は基本設計全体の配置計画に基づき工事導線と生徒導線を分離し生徒の安全確保に努めた。又、全体景観に配慮し変化ある中庭を設け建物を3階程度にすることで、周辺環境の緑地稜線を意識した質素な建物とした。

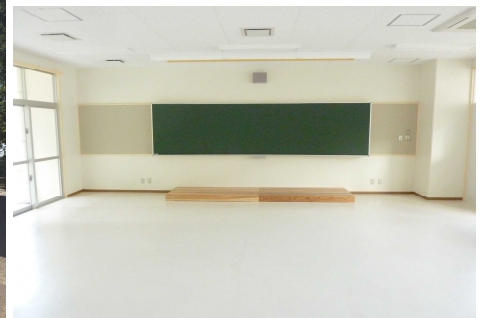
- 1) 建物は建替シュミレーションに基づき、仮設校舎を設けない、コスト削減計画とした。
- 2) 屋上の室外機の壁は地域性豊かな花ブロックとし地域周辺の景観に配慮した。
- 3) 渡り廊下外部は連続する中庭面の視界を妨げない通風性の良い計画とした。
- 4) 渡り廊下内部については休憩ベンチを設置し、図書室・学習室をガラス貼りにする事で生徒同士の学習意識をかりたてる計画とした。
- 5) 既設敷地レベルを維持した無理のない高低差での計画。
- 6) 西日対策を考慮した省エネ計画。



東側(外観)



北東側(外観)



教室(内観)

# 首里高校管理・特別教室棟

## 1. 施設概要

所在地：沖縄県那覇市首里真和志町  
工期：平成28年11月～平成30年1月  
構造・階数：鉄筋コンクリート造 地上3階建  
敷地面積：20,417 m<sup>2</sup>  
延べ面積：5,335 m<sup>2</sup>

## 2. 計画概要

首里高校管理・特別教室棟の建物老朽化による教育施設の悪化を改善し、安全で快適な学習施設の整備を図るために首里高校管理・特別教室棟等改築工事を行います。改築計画については敷地に空きがないため、運動場に同等規模で改築を行いました。特別教室棟なので専門分野を教育する中核施設を基本にし、施設計画は、光と風をとり込む開放的な造りの平面計画を考慮しました。



東側外観



内観 事務室



内観 会議室・養秀資料室



# 県営南風原第二団地

## 1. 施設概要

所在地：南風原町字津嘉山  
工期：平成28年3月～平成30年2月（第1期）  
構造・階数：鉄筋コンクリート造 地上9階建  
敷地面積：20,509.44 m<sup>2</sup>  
延べ面積：7,429.84 m<sup>2</sup>

## 2. 計画概要

既存中層5階建ての県営南風原第二団地は、塩害による建物の劣化が著しく、施設の安全性確保の上からも建替えが急務となっていること、居住水準の向上の為に建替工事（第1期）では2号棟（住戸104戸、集会場）が完成した。

建替工事（第1期）では敷地の有効利用、入居者の安全性を確保した団地計画となっている。

今後、建替工事（第2期）の建設計画が検討されている。



南側外観



2DKのダイニングキッチン



2DKの洗面・脱衣室

# 県営神森団地

## 1. 施設概要

所在地：浦添市仲西  
工期：平成28年1月～平成29年6月（第2期）  
構造・階数：鉄筋コンクリート造 地上9階建  
敷地面積：8,544.70 m<sup>2</sup>  
延べ面積：4,817.46 m<sup>2</sup>

## 2. 計画概要

県営神森団地は、昭和50年度の建設から約40年が経過し、老朽化や居住面積が狭小であることから建替事業を行った。2棟の高層住宅を2期に分けて整備する計画で、今回の第2期工事では、敷地南側に位置する2号棟の71戸整備した。

多様な家族形態に対応出来るよう3LDK、2LDK、2DK、2DK（車いす対応住戸）の4タイプの住戸を整備した。また、高齢者の配慮として、「沖縄県福祉のまちづくり条例」に基づく設計を行ったほか、1階に車いす対応住戸を2戸設けた。

浦添市の掲げる「太陽とみどりにあふれた国際性ゆたかな文化都市」にふさわしい団地を目指し、日照、通風、日影に配慮した住棟を配置し、さらに緑地を積極的に配置した。



東側外観



南側外観



住戸内